

研究機関：広島大学

研究課題名	結節性硬化症症例の臨床経過についての実態調査研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科腎泌尿器科学 教授 日向 信之
研究期間	2021年8月1日(倫理委員会承認後)～2037年12月31日
対象者	2017年2月から2027年12月の間に、広島大学結節性硬化症包括的診療グループで対応した結節性硬化症患者さん。
意義・目的	広島大学結節性硬化症包括的診療グループで対応した結節性硬化症患者さんの治療経過を明らかにし、より充実した診療体制確立の一助とするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、結節性硬化症と診断された時点の症状、病態、画像所見、初期治療内容(手術療法、薬物療法など)とそれぞれの治療時期です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	広島大学単独にて研究を行い、データを解析します。
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科腎泌尿器科学 准教授 亭島 淳
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。本研究で得られたデータは将来計画・実施される研究にとって貴重な資料となる可能性があります。新たに計画・実施される研究に得られた情報を用いる場合は、改めて倫理審査を受けたいうでで使用します。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 T e l : 082-257-5242 広島大学病院泌尿器科 職名 准教授 亭島 淳(研究担当者)